



人生が100年に延びる現代、住み慣れた地域で暮らしていくためには、**地域の人々と顔の見える関係**を築き、**お互いに支え合う**ことが大切です。サークル活動、趣味の仲間、近所付き合いやお茶飲み仲間など、人と人のつながりは「**地域のお宝**」であり、楽しく生きるための力になります。今回は、そんな**地域のお宝**について紹介します。

休泊地区

休泊チンドンクラブ 休泊八木節愛好会



部長 中村 康美さん (73)

栗原 勲さん(77)



部長の中村康美さんからは「苦労は多いけれど、地域の人達にたくさんのことを教えてもらい、自分も成長できています」と伺いました。



休泊チンドンクラブ



結成のきっかけは2004年にメンバーの栗原勲さんが所属する休泊八木節愛好会の仲間と2人で「全国アマチュアチンドンコンクールin前橋」を見たことでした。そのユニークさに刺激を受けた栗原さんは、八木節愛好会の仲間に声を掛け「休泊チンドンクラブ」を立ち上げました。

演奏で使用する道具や衣装は全て手作りし、チンドン屋の動画を見ながら練習を重ね、2005年に地元の賀茂神社で開かれた春の大祭で初披露しました。その後は昭和歌謡や寸劇などを取り入れてレパートリーを増やし、現在は12名の会員で高齢者施設や各種イベントなどへの出演を続けています。



2023年5月連合ぐんまふれあいフェスティバル



2023年9月 高齢者施設の敬老会

裏面では休泊八木節愛好会の紹介 ➡

地域のお宝発見 ～太田市生活支援体制整備事業～



休泊八木節愛好会

休泊八木節愛好会は、昭和46年に結成し、9歳から85歳まで現在22名の会員がいます。八木節は、群馬県の伝統的な民謡で独特のリズムとメロディが特徴です。愛好会は、地域の文化や伝統を大切にしており、毎年夏休みには休泊小の生徒を対象に八木節教室を実施しています。このような機会を設けることが、伝統である八木節を継承するきっかけとなっています。



2024年6月日典ラサ地域交流フェア

休泊八木節愛好会のメンバー



会長 大竹 幸枝さん (59)



保原 芳枝さん (85)



村田 千鶴子さん (71)

笛の吹けるメンバーを入れたいと誘われ8年前から参加しています。会長を昨年中村康美さんから受け継ぎました。

メンバー最年長。13年前に笛がやりたくて参加するようになりました。下小林町から車で参加しています。

7年前に石川県から越してきて「地元のことをもっと知りたい」という気持ちから1年前に八木節を始めました。

八木節に参加する子供達の声

祖父母世代の方達から色々教えてもらえて凄く嬉しいです。

音楽は元々好きです。八木節で鼓を叩くのがとても楽しいです。

今は鼓を担当していますが、踊りや違う楽器も挑戦したいです。

鼓を担当しています。いつかは踊りもやりたいです。



石山 心奈さん (5年生)



板橋 百香さん (5年生)



柴宮 奈々さん (5年生)



宮下 彩花さん (3年生)

check 古くから伝わる文化や伝統である「休泊八木節愛好会」と「休泊チンドンクラブ」を地域の皆さんが大切にしており、それを若い世代に継承していくことで、地元を誇りに思ったり、大切に作る心が育まれています。

Instagram

